

(様式例第11)



県 薩 病 第 7 0 号  
令 和 4 年 9 月 2 9 日

鹿児島県知事 殿

住所 鹿児島市鴨池新町10番1号  
申請者  
氏名 鹿児島県知事 塩田 康一



鹿児島県立薩南病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
氏名	鹿児島県知事 塩田 康一

2 名称

鹿児島県立薩南病院
-----------

3 所在の場所

〒897-1123 南さつま市加世田高橋1968-4
----------------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合 計
床	4床	20床	床	151床	175床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 病床数 2 床 人工呼吸器, 生体維持監視モニター, 除細動器, 心電図, 超音波診断装置
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析装置, 自動血球測定装置, 自動凝固測定装置
細菌検査室	(主な設備) 電気ふらん器, 安全キャビネット
病理検査室	(主な設備) システム生物顕微鏡, 自動染色装置
病理解剖室	(主な設備) 解剖台
研究室	
講義室	(主な設備) 音響設備, ビデオプロジェクター, スクリーン
図書室	室数 1 室 蔵書数 300冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	保有台数 1 台
医薬品情報管理室	床面積 25.8㎡

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	49.2%	算定 期間	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日
地域医療支援病院逆紹介率	116.8%		
算出根拠	A：紹介患者の数		2,228人
	B：初診患者の数		4,524人
	C：逆紹介患者の数		5,283人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13)

## 救急医療を提供する能力があることを証する書類

## 1 重症救急患者の受入に対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師	三枝 伸二	常勤 専従	8:30~17:15	
2	医師	大橋 保	常勤 専従	8:30~17:15	
3	医師	田中 裕之	常勤 専従	8:30~17:15	
4	医師	大塚 薫行	常勤 専従	8:30~17:15	
5	医師	藤崎 真由	常勤 専従	8:30~17:15	
6	医師	指宿 和成	常勤 専従	8:30~17:15	
7	医師	原口 朋普	常勤 専従	8:30~17:15	
8	医師	吉野 聡史	常勤 専従	8:30~17:15	
9	医師	伊東 伸洋	常勤 専従	8:30~17:15	
10	医師	野崎 圭吾	常勤 専従	8:30~17:15	
11	医師	青木 大	常勤 専従	8:30~17:15	
12	医師	安藤 慶	常勤 専従	8:30~17:15	
13	医師	下村 寛貴	常勤 専従	8:30~17:15	
14	医師	原田 治	常勤 専従	8:30~17:15	
15	診療放射線技師	久保 展弘	常勤 専従	8:30~17:15	
16	診療放射線技師	平 稔 幸	常勤 専従	8:30~17:15	
17	診療放射線技師	児玉 公輝	常勤 専従	8:30~17:15	
18	診療放射線技師	草野 芳信	常勤 専従	8:30~17:15	
19	診療放射線技師	吉田 行寿	常勤 専従	8:30~17:15	
20	診療放射線技師	立石 ひめ乃	常勤 専従	8:30~17:15	
21	臨床検査技師	有馬 忠行	常勤 専従	8:30~17:15	
22	臨床検査技師	山口 幹夫	常勤 専従	8:30~17:15	
23	臨床検査技師	岩元 由佳	常勤 専従	8:30~17:15	
24	臨床検査技師	楠元 智美	常勤 専従	8:30~17:15	
25	臨床検査技師	河野 陽平	常勤 専従	8:30~17:15	
26	臨床検査技師	久保 妃未佳	常勤 専従	8:30~17:15	
27	臨床検査技師	牧野 華蓮	常勤 専従	8:30~17:15	
28	薬剤師	菅田 英二	常勤 専従	8:30~17:15	
29	薬剤師	原 康人	常勤 専従	8:30~17:15	
30	薬剤師	若松 良知	常勤 専従	8:30~17:15	
31	薬剤師	江下 聡美	常勤 専従	8:30~17:15	

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
32	薬剤師	浜村 圭惟	常勤 専従	8:30~17:15	
33	看護師	橋口 初子	常勤 専従	8:30~17:15	
34	看護師	南 美和子	常勤 専従	8:30~17:15	
35	看護師	蒲牟田 ゆり	常勤 専従	8:30~17:15	
36	看護師	松山 一美	常勤 専従	8:30~17:15	
37	看護師	中尾 五月	常勤 専従	8:30~17:15	
38	看護師	市坪 礼子	常勤 専従	8:30~17:15	
39	看護師	松野下 里美	常勤 専従	8:30~17:15	
40	看護師	竹田 敦子	常勤 専従	8:30~17:15	
41	看護師	竹之内 美紀	常勤 専従	8:30~17:15	
42	看護師	上村 麗子	常勤 専従	8:30~17:15	
43	看護師	内宮 志保	常勤 専従	8:30~17:15	
44	看護師	上野 さやか	常勤 専従	8:30~17:15	
45	看護師	染川 朋子	常勤 専従	8:30~17:15	
46	看護師	油井 琴美	常勤 専従	8:30~17:15	
47	看護師	池浪 千恵	常勤 専従	8:30~17:15	
48	看護師	市山 愛恵	常勤 専従	8:30~17:15	
49	看護師	阿部 雪音	常勤 専従	8:30~17:15	
50	看護師	福満 里保	常勤 専従	8:30~17:15	
51	看護師	折田 瑠美	常勤 専従	8:30~17:15	
52	看護師	寺田 愛海	常勤 専従	8:30~17:15	
53	看護師	鶴田 怜一朗	常勤 専従	8:30~17:15	
54	看護師	室屋 海咲	常勤 専従	8:30~17:15	
55	看護師	牧枝 さとみ	常勤 専従	8:30~17:15	
56	看護師	大園 かおり	常勤 専従	8:30~17:15	
57	看護師	板敷 真由美	常勤 専従	8:30~17:15	
58	看護師	當房 朋子	常勤 専従	8:30~17:15	
59	看護師	東壜比野 智美	常勤 専従	8:30~17:15	
60	看護師	小濱 智美	常勤 専従	8:30~17:15	
61	看護師	下迫 美里	常勤 専従	8:30~17:15	
62	看護師	中村 智子	常勤 専従	8:30~17:15	
63	看護師	米原 さとみ	常勤 専従	8:30~17:15	

## 2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	10床
専用病床	2床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

## 3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
手術室(3室)	83㎡	主な設備：手術台、無影灯、麻酔器、ポータブルX線撮影装置、モニター監視テレビ、電気メス、除細動器、超音波診断装置、シリンジポンプ、高周波手術装置、超音波凝固切開装置、腹腔鏡手術システム、体温維持装置	可
救急処置室	35㎡	主な設備：人工呼吸器、生体維持監視モニター、超音波ネブライザー、超音波診断装置心電図、除細動器、シリンジポンプ、輸液ポンプ	可
集中治療室(CCU)	35㎡	主な設備：人工呼吸器、生体維持監視モニター、除細動器、心電図、シリンジポンプ、輸液ポンプ	可

## 4 備考

救急告示病院
--------

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。  
既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載すること。

## 5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	691人 (536人)
上記以外の救急患者の数	676人 (186人)
合計	1,367人 (722人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。  
括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

## 6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療, 研究又は研修のための利用 (共同利用) のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

共同利用 0件
---------

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において, 当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数, これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数, 共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

全ての建物, 設備, 器械, 器具
-------------------

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部, 設備, 器械又は器具のうち, 共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無 有 (別紙1のとおり)  
イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名 大橋 保  
職種 医師

(注) 共同利用に関する規程がある場合は, 当該規程の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙2のとおり				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	5床
--------------	----

# 県立薩南病院開放型病院運営規程

鹿児島県立薩南病院

## (目的)

第1条 本規程は、県立薩南病院（以下「病院」という。）が、南薩地域の中核病院としての従来の責務に加えて、患者中心の一貫した医療ならびに協定医師会会員の教育・研修のために、病院の開放、高度医療機器の利用、さらには相互の医学研修など病病連携、病診連携を推進し、より充実した医療を地域住民に提供することを目的として定めるものである。

## (登録医)

第2条 開放型病院の利用を希望する医師は、県立薩南病院地域診療連携室（以下「連携室」という。）に開放型病院利用登録申請書（別記第1号様式）を提出して登録を行う。病院は、登録医に対して開放型病院登録医証（別記第2号様式）を交付する。

2 登録期間は、登録の日から登録日の属する年度の年度末までとする。ただし、双方異存のない場合は自動更新するものとする。

3 登録医は、自己都合により登録の取消しを申し出る場合は、開放型病院利用登録辞退届（別記第3号様式）を提出して登録医証を返却するものとする。

## (身分)

第3条 登録医は、病院の組織には所属しないが、診療科部長または担当医との連携のもとに病院職員に対して指示を行うことができる。

## (責務)

第4条 登録医は、病院の諸規則、規程を遵守するとともに、院内においては登録医証を着用するものとする。

2 病院の担当医は、診断治療に係る責任を持つものとする。

## (入院の手順)

第5条 登録医は、診療状況を示す文書を添えて病院の担当医師に連絡するものとし入院の可否の決定、入院の手順等は各診療科と登録医の合意によるものとする。

## (診療)

第6条 登録医は、診療科部長または担当医との連携のもとに、紹介した患者を診察し、検査や治療に参加できる。

ただし、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 診療のために来院するときは、診療時間等をあらかじめ病院担当医と協議するとともに、経営課総合窓口（休日・時間外は警備員室）に備え付けの「開放型病院利用登録医来院名簿」（別記第4号様式）に記入するものとする。



(2) 診療時間は、原則として午前9時から午後8時までとする。

(3) 診療を行うときは、原則として病院担当医との同時診療とし、診療に関しては病院の方針を遵守するものとする。

なお、診療を行ったときは、その都度、病院の診療録に記載しなければならない。

#### (付属施設等の利用)

第7条 登録医は、病院内のすべての設備、検査機器、機械、器具等を使用できるものとする。

#### (報酬)

第8条 当該患者の入院中の診療報酬は病院に帰属する。なお、病院は、共同診療に伴って登録医に帰属することとなる開放型病院共同指導料等の診療報酬算定に協力するものとする。

#### (退院の手順)

第9条 患者の退院に際し、担当医は必要に応じて登録医と退院後の治療方針について協議する。また、登録医は担当医から入院経過および結果の報告を受けるものとする。

#### (医療事故賠償責任等)

第10条 開放型病院における医療事故等については、病院が当事者として対応する。ただし、必要がある場合は、登録医および医師会の協力を得るものとする。

#### (研究会、研修会等)

第11条 登録医は、病院で行う研究会、研修会等に参加することができる。病院は、登録医の出席しやすい研究会、研修会等を開催するものとする。

#### (支援)

第12条 病院は、登録医の院内における活動を支援し、便宜を図らなければならない。

#### (開放型病院運営協議会)

第13条 開放型病院の円滑な運営と本規程の改正および運営管理に関する事項等を協議するため、開放型病院運営協議会を設置する。

#### 附則

##### (施行期日)

1 この規程は、平成20年9月12日から施行する。

第1号様式

年 月 日	
<b>開放型病院利用登録申請書</b>	
県立薩南病院の開放型病院制度を利用したいので、登録を申請します。 なお、利用にあたっては、薩南病院の諸規則、規程を遵守します。	
鹿児島県立薩南病院 院長 殿	
医師 住所 氏名 印	
医療機関名	
医療機関所在地	
診療科目	
病床数	

第2号様式

<b>鹿児島県立薩南病院</b>	
<b>開放型病院登録医証</b>	
写真貼付	登録年月日 年 月 日
	登録番号 ○○○○
	医師氏名
	所属医療機関名



## 別紙2 (様式例第14)

## 4 登録医療機関の名簿

No.	医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科	地域医療支援 病院開設者との 経営上の関係
1	真愛病院	医療法人 真愛みどり会	南さつま市加世田東本町7-3	整形外科・リハビリテーション科	無
2	眼科安田クリニック	医療法人 明誠会	南さつま市加世田東本町9-6	眼科	無
3	有馬病院	医療法人 椎原会	南さつま市加世田地頭所570	内科・外科・整形外科・神経内科・リハビリテーション科	無
4	友松内科クリニック	医療法人 起生会	南さつま市加世田村原1-7-6	内科・消化器科・循環器科・放射線科	無
5	金子医院	金子 和豊	南さつま市加世田唐仁原6025	内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・放射線科	無
6	吉井クリニック	医療法人 吉井クリニック	南さつま市加世田村原2-2-7	形成外科・皮膚科・美容外科	無
7	徳久整形外科	医療法人 徳和会	南さつま市加世田白亀1285-1	整形外科・リウマチ科・理学診療科	無
8	青木医院	青木 伸一	南九州市頰娃町別府317	内科	無
9	野間池診療所	南さつま市	南さつま市笠沙町片浦15378	内科	無
10	かりや内科クリニック	飯屋 雅仁	南九州市川辺町平山6806	内科	無
11	唐仁原内科クリニック	唐仁原 貴	南さつま市加世田東本町32-16	内科・消化器科・循環器科	無
12	枕崎こどもクリニック	中國 伸一	枕崎市松之尾町15	小児科・アレルギー科	無
13	東外科胃腸科医院	東 剛造	南九州市川辺町平山3414	外科・胃腸科・リハビリテーション科	無
14	有山内科	有山 尊郎	枕崎市鹿籠町33	内科・循環器科	無
15	枕崎市立病院	枕崎市	枕崎市日之出町230	内科	無
16	牧角医院	牧角 格	南さつま市加世田本町30-6	泌尿器科・皮膚科	無
17	なかやま脳神経外科	中山 正基	南さつま市加世田東本町12-4	脳神経外科・神経内科・心療内科・リハビリテーション科	無
18	茅野内科医院	茅野 哲郎	枕崎市住吉町41	内科・胃腸科・循環器科・小児科	無
19	はしぐちクリニック	橋口 真也	南さつま市加世田東本町14-14	内科・胃腸科・糖尿病内科	無
20	溝口クリニック	溝口 亮	枕崎市住吉町48	呼吸器科・内科	無
21	ふくいわ耳鼻咽喉科クリニック	福岩 達哉	南さつま市加世田本町22-5	耳鼻咽喉科	無
22	江平クリニック	江平 征郎	南九州市知覧町郡17810-1	胃腸科・内科・消化器科・放射線科・リハビリテーション科	無

No.	医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
23	加世田シティー内匠眼科	内匠 新吾	南さつま市加世田東本町31-6	眼科	無
24	上原整形外科クリニック	医療法人 裕祥会	南九州市川辺町永田1593	整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科	無
25	南さつま中央病院	楠元 慶明	南さつま市加世田本町37-4	内科・外科・胃腸科・肛門科・婦人科・麻酔科	無
26	酒瀬川医院	医療法人 酒瀬川医院	南さつま市加世田津貫5984	内科	無
27	小田代記念クリニック	医療法人 恵徳会	南九州市知覧町郡5236-2	内科・消化器科・循環器科・放射線科・眼科・外科・整形外科・リハビリテーション科	無
28	大迫クリニック	医療法人 孝仁会	南さつま市笠沙町片浦1254	内科・胃腸科・循環器科・放射線科・小児科・リハビリテーション科	無
29	小山クリニック	医療法人 小山クリニック	南さつま市金峰町尾下354	内科・放射線科	無
30	かわなべ共立内科	医療法人 雅集会	南九州市川辺町田辺田3971	内科・呼吸器科・消化器科・循環器科	無
31	清小児科	医療法人 こどもの基地	南九州市川辺町平山3778-1	小児科	無
32	神園ひふ科クリニック	神園 政行	枕崎市千代田町22	皮膚科	無
33	松岡医院	松岡 秀隆	南さつま市加世田唐仁原6027	耳鼻咽喉科・気管食道科	無
34	宮内クリニック	医療法人 宮内クリニック	南さつま市金峰町池辺2834	泌尿器科・循環器科・内科	無
35	こだま病院	医療法人 蒼風会	南九州市川辺町田部田3525	精神科・内科・神経科	無
36	西田医院	西田 保馬	南さつま市金峰町宮崎4350	内科	無
37	立神リハビリテーション温泉病院	医療法人 厚生会	枕崎市火之神町620	内科・リハビリテーション科	無
38	南薩ケアほすびたる	牧角 浩史	南九州市川辺町平山5860	内科	無
39	尾辻病院	医療法人 二三和会	枕崎市住吉町80	麻酔科・外科・リハビリテーション科	無

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

開催日	研修内容	対象者	参加者	
			院内	院外
5月18日	さつなん看護セミナー 「心不全の基礎と看護」	医 師 看 護 パ ラ メ デ ィ カ ル そ の 他	13	33
6月16日	さつなん看護セミナー 「内服抗癌剤の基礎と看護」	看 護 パ ラ メ デ ィ カ ル そ の 他	10	24
7月27日	さつなん看護セミナー 「基礎から学ぶ感染対策」	看 護 パ ラ メ デ ィ カ ル 師	1	25
10月19日	さつなん看護セミナー 「認知症高齢者の身体抑制予防について」	看 護 の 他	2	50
11月16日	さつなん看護セミナー 「オピオイドの開始時のケア、開始後のアセスメントとケア」	医 看 護 師	—	25
12月5日	がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会	医 看 護 師	—	13
12月21日	さつなん看護セミナー 「改定された褥瘡状況判定スケール『DESIGN-R2020』知っておきたいポイント」	看 護 の 他	—	21
2月15日	さつなん看護セミナー 「コロナ禍における緩和ケア」	看 護 師	1	15
2月18日	南薩地区研修会 「基礎的な消化管エコーを中心に」	臨床検査技師	6	21

## 2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	9回
(2) (1) の合計研修者数	227人

## 3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 有

イ 研修委員会設置の有無 有

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診 療 科	役 職 等	臨床経験 年 数	特記事項
三枝 伸二	医 師	外 科	院 長	35年	
大橋 保	医 師	内 科	副院長兼内科部長	39年	
田中 裕之	医 師	内 科	総合診療科部長	22年	
指宿 和成	医 師	内 科	消化器内科部長	18年	
吉野 聡史	医 師	内 科	循環器内科部長	20年	
青木 大	医 師	外 科	外科部長	29年	
原田 治	医 師	放射線科	放射線科部長	37年	
佐藤 リカヨ	看護師	看護部	総看護師長		
佐藤 朋子	看護師	看護部	副総看護師長		看護教育責任者
額川 一夫	事務		事務長		
堂原 辰郎	事務	総務課	事務次長		教育責任者

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

## 4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
大会議室	157㎡	主な設備：音響設備、ビデオプロジェクター
小会議室	54㎡	主な設備：
看護研修室	36㎡	主な設備：

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	院長	三枝 伸二
管理担当者氏名	事務次長 副総看護師長 経営課長 主幹兼総務係長 経営係長 診療情報管理士	堂原 辰郎 佐藤 朋子 宇都 真紀 上野 瑞恵 山口 健二 有島 倫子

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌, 各科診療日誌, 処方せん, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写真, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		(カルテ) カルテ庫及び カルテ保管庫  (カルテ以外) 各事務所管部署 及び文書保存庫	(カルテ) 1患者1IDによるターミナル デジタル方式で分類  (カルテ以外) 県文書管理規程に基づき分類
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	年度別に整理
	救急医療の提供の実績	経営課	年度別に整理
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	総務課	年度別に整理
	閲覧実績	経営課	年度別に整理
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室	年度別に整理

(注) 「診療に関する諸記録」欄には, 個々の記録について記入する必要はなく, 全体としての管理方法の概略を記入すること。



(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	事務長 瀬川 一夫 事務次長 堂原 辰郎
閲覧担当者氏名	主幹兼総務係長 上野 瑞恵 経営係長 山口 健二
閲覧の求めに応じる場所	(情報公開窓口) 総務課, 経営課

前年度の総閲覧件数		5件
閲覧者名	医師	
	歯科医師	
	地方公共団体	
	その他	5件

(注) 閲覧件数については、前年度の総延べ数を記入すること。

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2回
委員 会 に お け る 議 論 の 概 要	
令和3年度 第1回地域医療支援病院運営委員会	
1 日時	令和3年11月16日
2 場所	県立薩南病院 大会議室
3 出席	枕崎市医師会, 南薩歯科医師会, 南薩薬剤師会, 南薩地域振興局, 南さつま市, 南さつま市消防本部, 枕崎市消防本部, 指宿南九州消防組合消防本部, 病院 (院長, 副院長, 事務長, 医局長, 総看護師長)
4 報告事項並びに協議	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 報告事項 (令和3年9月までの実績)<ul style="list-style-type: none"><li>・ 患者数の動向 (患者数, 病床利用率, 平均在院日数の状況等)</li><li>・ 市町村別の患者動向</li><li>・ 救急患者の受入状況</li><li>・ 紹介率・逆紹介率</li><li>・ 地域医療連携室の活動実績</li></ul></li><li>○ 協議<ul style="list-style-type: none"><li>・ 新型コロナウイルス感染症の影響について</li><li>・ 救急患者の搬送状況について</li><li>・ 医科歯科連携について</li></ul></li></ul>
令和3年度 第2回地域医療支援病院運営委員会	
1 日時	令和4年3月15日 (書面開催)
2 対象者	南薩医師会, 枕崎市医師会, 南薩歯科医師会, 南薩薬剤師会 南薩地域振興局, 南さつま市, 南さつま市消防本部, 枕崎市消防本部, 指宿南九州消防組合消防本部 病院 (院長, 副院長, 事務長, 医局長, 総看護師長)
3 報告事項	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 報告事項 (令和4年2月までの実績)<ul style="list-style-type: none"><li>・ 患者数の動向 (患者数, 病床利用率, 平均在院日数の状況等)</li><li>・ 市町村別の患者動向</li><li>・ 救急患者の受入状況</li><li>・ 紹介率・逆紹介率</li><li>・ 地域医療連携室の活動実績</li></ul></li></ul>

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については, 前年度のものを記載すること。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談室
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	医療福祉相談員, 社会福祉士, 看護師
患者相談件数	4, 655件
患 者 相 談 の 概 要	
福祉相談	464件
一般相談	699件
がん相談	910件
入院受入相談	92件
退院支援相談	2,066件
退院調整	420件
合計	4,655件
(講じた対策等)	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 院内関係セクションと連携し, スムーズな退院支援が行えるよう早い段階からの相談対応, 各種福祉制度の説明等具体的支援を行った。</li><li>・ 必要に応じ関係行政機関, 医療・介護機関と連携し, 十分な回答が得られるよう対応した。</li><li>・ 相談対応時のスキル向上のため, 研修会へ積極的に参加した。</li></ul>	

(注) 患者相談の概要については, 相談内容を適切に分類し記載するとともに, 相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。

(様式例第20) その他の地域医療支援病院に求められる取組に関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有
・評価を行った機関名, 評価を受けた時期 日本医療機能評価機構 H30.10.20 (一般病院2) 3rdG: ver.2.0	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については, 日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有
・情報発信の方法, 内容等の概要 ホームページによる診療内容の案内や指標の公表 広報誌発行 (2か月に1回) による情報発信 市民講座開催による地域住民へのPR	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有
・退院調整部門の概要 地域医療連携室: 平成22年4月1日設置 室長 (放射線科部長兼務), 副室長1 (看護師長), 看護師1, 社会福祉士1, 非常勤職員2	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの種類・内容	有
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 県内統一の地域連携クリティカルパスの使用 (肺・大腸・胃・乳房・肝臓) ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 医療関係者や市民向けの研修会の開催	